

三重大学医学部附属病院における特殊疾病患者の受入実績

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
広範囲熱傷	2	3	4	2	5
うち他院への転院搬送件数	0	0	1	0	1
多肢切断	2	0	1	0	0
うち他院への転院搬送件数	0	0	1	0	0
重症急性中毒症	7	3	7	3	7
うち他院への転院搬送件数					
重症外傷（MaxAISが3以上）	141	162	163	150	167
うち他院への転院搬送件数					

○特殊疾病患者（広範囲熱傷、多肢切断、急性中毒症、重症外傷）の受入状況について

- 広範囲熱傷**： 形成外科の終日のバックアップ体制が整い、応需できるケースは確実に増加した。同時に集中治療管理できる症例は1（-2例）程度である。
- 多肢切断**：形成外科の終日のバックアップ体制が整い、応需できるケースは確実に増加した。
- 急性中毒症**：特に問題なく応需可能
- 重症外傷**：全県から特に問題なく応需可能

○高度救命救急センターを運営する上での課題について

- 1) **病床運営とハード不足**：集中治療室の稼働率が時に100%超→空床確保に難渋
- 2) **ソフト不足**：看護師を中心として人員の確保に課題がある
- 3) **搬送困難・転院困難事例**：搬送困難事例受入を行うも、戻し搬送応需不可例が一定数存在
- 4) **有効な経験値の共有**：継続的な教育システムの確立が必要